

# やまゆり通信

令和6年  
1月9日



## 1月行事予定

- 1日(月) 元日
- 4日(木) 仕事始め
- 8日(月) 成人の日 八日薬師
- 9日(火) 3学期始業式、体位測定
- 10日(水) 給食開始 上北山村出初式
- 11日(木) 7・9年学カテスト
- 12日(金) スクールソーシャルワーカー来校
- 19日(木) 新春おめでとう集会
- 20日(土) 県P研究大会
- 23日(火) 諸費納入
- 25日(木) スクールカウンセラー来校



## もちつき大会

前回の冬休み号でもお伝えしましたが、2学期終業式の後、全校でもちつき大会を行いました。杵(きね)でもちをつく機会はなくなりましたが、子どもたちにとっては昔の風習に触れる楽しい機会となりました。みんな上手に杵を降りおろし、見る見るうちにやわらかくて伸びのあるおいしそうなおもちがつきあがりしました。また地域の方からいただいたトチの実を蒸して、もちといっしょにつき、とちもちをつくりました。みんな上手に丸くこねることができました。



元日の午後4時10分頃スマホの緊急地震速報のアラームがけたたましく鳴り響き、緊張が走りました。テレビの画面が切り替わると、女性アナウンサーが「早く逃げてください！」という絶叫に近い強い口調で何度も何度も繰り返している映像が飛び込んできました。倒壊した家屋や勢いが収まらない炎にただただぼうぜんと見つめることしかできませんでした。能登半島地震で被災された方々にお見舞い申し上げますと共に、亡くなられた方々のご冥福(めいふく)をお祈りいたします。翌日2日には、旅客機が炎上している信じられない光景を目にすることになりました。乗客乗員379名全員が無事であったことは、奇跡でしかありませんが、能登半島に向かう海上保安庁航空機に搭乗(とうじょう)していた5名の方が亡くなられるという痛ましい事故となりました。ニュースでは炎に包まれた機体からの緊迫(きんぱく)した避難の様子が流れていました。379人ものたくさんの人が無事避難できたのは、客室乗務員(CA)さんたちの落ち着いた行動のおかげです。航空機の安全に関する世界基準に「90秒ルール」というものがあるそうです。安全基準として、脱出シューターが開いてから90秒以内に搭乗者全員が脱出できるように定めていて、乗務員さんは年に1回以上避難誘導の訓練を行っているそうです。人命を救うため、万が一に備えての訓練を徹底して行うようです。乗客がパニックになっている中、訓練を踏まえて冷静に、落ち着いて行動した乗務員さんたちの存在が、たくさんの人々の命を守ったのです。乗務員さんの快適な機内サービスに目が行きますが、乗務員さんは絶えず緊急時を想定しながら仕事に取り組まれていて、乗客の安全を最優先することを心掛けているとのこと。私たちも毎学期避難訓練を行っていますが、今一度訓練の意義をかみしめながら、災害への対応をしっかりと考え、取り組んでいかななくてはと知らされた思いでいます。南海トラフ地震は確実にやってきます。自他の生命を守るとはどういうことなのか、正しい行動とは何かを絶えず意識して、学校生活を送らなくてはならないと感じております。最後になりましたが、本年もどうぞよろしくお祈りいたします。